

第5回「環境と公害」市民公開セミナー

宮本憲一文庫と 環境研究の継承

公害・環境問題研究を一貫して牽引されてきた宮本憲一氏から
図書・収集資料の寄贈を受け設けられた金沢大学・宮本文庫。
今回のセミナーでは、宮本文庫を活用しつつ、宮本氏の理論を
どのように継承・発展させるかをめぐって報告・討論します。

講演内容

寺西俊一 「戦後日本の公害・環境問題研究と“宮本経済学”の意義」

永井 進 「公害の政治経済学とは何だったのか

——宮本憲一と都留重人の業績を振り返る」

佐無田光 「サステナビリティの政治経済学

——宮本経済学から地域研究への示唆」

土井妙子 「四日市反公害運動家・澤井余志郎の思想形成

——訓覇也男との交流に着目して」

日時:2019年11月10日(日) 13:30～

場所:金沢大学サテライトプラザ1階 金沢市西町三番丁16番地

申込:<https://jecep.page.link/N5ka>  左記よりお申し込み下さい



参加者の皆さまには、資料代として1,500円(学生1,000円)を徴収させていただきます。今回の講演論文が掲載された『環境と公害』49巻2号(税込定価1,650円)をお渡しいたします。ただし、日本環境会議の会員、『環境と公害』定期購読者、『環境と公害』を別途購入された方は、「資料代」なしで参加できます。

主催:日本環境会議
環境政策形成史研究プロジェクト(科研費・17H01930)
共催:金沢大学地域政策研究センター
後援:日本科学者会議石川支部